

# 情報コミュニケーション学会 第23回全国大会プログラム

大会テーマ：

人と技術の調和が拓くウェルビーイング

2026年2月28日（土）・3月1日（日）

大手前大学さくら夙川キャンパス

主催 情報コミュニケーション学会

共催 大手前大学

後援 兵庫県教育委員会

西宮市教育委員会



## 情報コミュニケーション学会第 23 回全国大会を迎えて

情報コミュニケーション学会第 23 回全国大会実行委員会 委員長  
大手前大学 畑 耕治郎

情報技術の急速な発展は、私たちの暮らし、働き方、学び、そして人と人とのつながり方に、根本的な変化をもたらしています。AI やデジタル技術が生活のあらゆる場面に溶け込んでいる今、私たちはそれらを単なる「効率化の手段」としてだけでなく、人々のウェルビーイングを支え、高める礎として捉え直していく必要があります。

このたび、大手前学園創立 80 周年という記念すべき節目に、周年事業の一環として本大会を開催できますことを、大変光栄に存じます。本学は「STUDY FOR LIFE (生涯にわたる、人生のための学び)」を建学の精神とし、「一人ひとりの人生のウェルビーイングを、胸を打つ教育を通じて実現する」ことをビジョンに掲げております。この理念のもと、本大会では「人と技術の調和が拓くウェルビーイング」をテーマに据えました。情報技術がいかにして人の心に寄り添い、真の豊かさに貢献できるのかを、皆様と共に深く考える機会としたいと願っております。

こうした社会の変化を背景に、今まさに重要性を増しているのが、高等学校と大学が学びのバトンをつないでいく「高大接続・高大連携」の視点です。2022 年度から「情報 I」が必修化され、プログラミングやデータ活用を主体的に学んだ生徒たちが大学での学びへと歩みを進めています。

高等学校で育まれた芽を、大学でいかに大きな樹へと成長させるか。そして、単なるスキルとしての IT ではなく、ウェルビーイングのために技術を使いこなす「人間中心の情報活用能力」をどう育てていくか。この問いに対する答えは、大学教育のみで完結するものではありません。本大会が、高等学校と大学の教員がそれぞれの実践知を持ち寄り、情報教育の未来を共に描く共創の場となることを切に願っております。

ご参加の皆様の活発なご議論と交流が、人と技術の調和によるウェルビーイングの実現に向けて、実り多いものとなりますことを、心より祈念いたします。

## 情報コミュニケーション学会第 23 回全国大会の開催にあたって

情報コミュニケーション学会会長  
青山学院大学 寺尾 敦

大手前学園創立 80 周年という記念すべき節目に、本大会を周年行事の一環として開催できますことを、とてもうれしく思います。開催校の決め方にルールはありませんが、これまで西側と東側でおおまかにバランスをとってきました。前回大会を昭和女子大学で開催したとき、次は西側で開催したいと考えていました。お引き受けいただけるところが見つからず困っていたところ、今大会の実行委員長である畑先生から、大手前大学の周年行事の一環として開催するという、素晴らしいご提案をいただきました。

今大会では、研究発表プログラムを作成するプログラム委員会と、現地の会場準備と大会運営を行う実行委員会を分けました。これまで実行委員会の負担がかなり大きかったので、昨年度の大会の実行委員会で、このように委員会を分けることが提案されました。これはどうしようかとその場で決めながら進めることが多く、スムーズだったとは言えませんが、初めての試みとしては成功だったと考えています。

情報コミュニケーション学会全国大会の大きな特徴のひとつは、学部生の発表を歓迎していることです。今大会での 47 件の研究発表のうち、学部生が責任発表者となっているものは 9 件あります。卒業研究を行った学部生にぜひ成果を発表してもらいたいと考えて、発表申し込みの締め切りを、プログラムの作成と論文集の印刷がなんとか間に合う日に設定しました。そのため、発表賞の審査スケジュールがとても厳しくなりました。審査をしていただいた方々に感謝いたします。学部生のみなさんは、ぜひ発表を楽しんでください。

最後になってしまいましたが、今大会では多くの協賛・出展をいただくことができました。大規模な学術集会への協賛で得られるようなメリットのないところで協賛・出展のお願いに応じていただき、感謝申し上げます。今後ともぜひ、情報コミュニケーション学会とのお付き合いをお願いします。

情報コミュニケーション学会第23回全国大会 日程表  
第1日目 2026年2月28日(土)

10:30 ~	<b>受付</b> 2階 A28 教室		
11:00-12:00	<b>高大連携セッション ワークショップ1</b> AI時代のデータサイエンス教育 — 統計的リテラシーと「問いを立てる力」をどう育てるか — Exploratory 西田 勘一郎 氏  4階 A44 教室		
12:00-13:00	<b>昼食</b>		
13:00-13:20	<b>オープニングセッション</b> 開会挨拶 青山学院大学 寺尾 敦 氏 開催校挨拶 大手前大学 平野 光俊 氏  4階 A44 教室		
13:25-14:10	<b>基調講演</b> 『人の感性に寄り添うAIで拓くウェルビーイング』 電気通信大学 坂本 真樹 氏  4階 A44 教室		
14:15-15:00	<b>高大連携セッション 特別講演</b> 『AIが東大理三に受かる時代、学校は何を教えるのか』 — 創造性と多様な知性を育む新しい教育のかたち — 青山学院大学・青山学院中等部講師 安藤 昇 氏  4階 A44 教室		
15:00-15:40	<b>休憩(企業展示)</b>  2階 A24a 教室、A24b 教室		
15:40-17:10	<b>一般研究発表 1A</b> 地域・行政(1)  2階 A23 教室	<b>一般研究発表 1B</b> 大学教育・教育 システム(1)  2階 A21 教室	<b>高大連携セッション ワークショップ2</b> 『「心」を動かすテクノロジーの授業』 NTT株式会社 渡邊 淳司 氏 GROOVE X株式会社 LOVOT  3階 A32 教室
17:30-19:00	<b>情報交換会</b>  会場：E棟(食堂)		

情報コミュニケーション学会第23回全国大会 日程表

第2日目 2026年3月1日(日)

9:00 ~	<b>受付</b> 2階 A28 教室		
9:30-11:20	<b>一般研究発表 2A</b> 心理(1)  2階 A23 教室	<b>一般研究発表 2B</b> 大学教育・ 教育システム(2)  2階 A21 教室	<b>一般研究発表 2C</b> 初等中等教育  3階 A38 教室
11:30-12:00	<b>総会</b>  4階 A44 教室		
12:00-13:00	<b>昼食</b>		
13:00-14:30	<b>一般研究発表 3A</b> 健康・医療  2階 A23 教室	<b>一般研究発表 3B</b> AI・データサイエンス  2階 A21 教室	<b>一般研究発表 3C</b> 教員・専門職養成  3階 A38 教室
14:45-16:15	<b>一般研究発表 4A</b> 心理(2)  2階 A23 教室	<b>一般研究発表 4B</b> 広告・消費者  2階 A21 教室	<b>一般研究発表 4C</b> 地域・行政(2)  3階 A38 教室
16:30-16:45	<b>クロージングセッション</b> 閉会挨拶  4階 A44 教室		

※ 2日目の最後の「クロージングセッション」で本大会の発表の中から特に優れた発表に対する発表賞の表彰を行います。皆様、ご出席いただきますようお願いいたします。

---

## 基調講演

---

2月28日（土）13時25分～14時10分

### <講演タイトル>

『人の感性に寄り添う AI で拓くウェルビーイング』

### <講演者>

国立大学法人電気通信大学副学長 坂本 真樹 氏

### <講演概要>

AI が人の感情や感性を理解し、日常や医療、創造活動に寄り添うことで、心身の充実や幸福感を高める新しいウェルビーイングの可能性を、具体例を交えてわかりやすく紹介します。

### <講演者プロフィール>

1998年 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程修了（博士（学術））  
東京大学助手、電気通信大学講師、准教授を経て、2015年より電気通信大学大学院情報理工学研究科教授。2020年より副学長

2018年5月 感性 AI 株式会社創業 取締役 COO

2024年6月 ソフトバンク株式会社 社外取締役に就任

人工知能学会理事、内閣府 AI 関連委員会委員などを歴任。人工知能学会論文賞など受賞多数。感性に着目した生成型 AI と分析型 AI の開発と応用、および物理空間とサイバー空間の融合の実現を推進。著書「坂本真樹先生が教える人工知能がほぼほぼわかる本」の一部は国語の教科書に引用されている。NHK ラジオ「子ども科学電話相談」準レギュラー。

---

## 特別講演（高大連携セッション）

---

2月28日（土）14時15分～15時00分

### <講演タイトル>

『AIが東大理三に受かる時代、学校は何を教えるのか  
— 創造性と多様な知性を育む新しい教育のかたち —』

### <講演者>

スタディサプリ情報I講師  
青山学院大学・青山学院中等部講師 安藤 昇 氏

### <講演概要>

IQ150相当、東大理三レベルの知能を持つ生成AIが誰でも使える今、「知識を覚える」教育の価値は大きく変わりました。これからの学校に求められるのは、AIには代替できない創造性や、一人ひとりの多様な強みを引き出すこと。本講演では、青山学院での実践事例をもとに、多重知能理論の視点から「AI時代に輝く子どもたちの育て方」を具体的に提案します。

### <講演者プロフィール>

生成AIを活用した教育の第一人者として、DXハイスクール導入を支援し、多くの学校でアドバイザーを務める。2023年よりスタディサプリで講師を担当し、2025年大学入学共通テストの必修科目『情報I』の講座を担当している。映像授業クリエイターとしても活躍しており、運営するYouTubeチャンネル「GIGAch」は登録者数が3万人を超える。また、Hulu配信番組「めざせ！プログラミングスター～プロスタ★キッズ大集合～」ではプログラミング講師として出演。AIと教育を融合した新しい学びを実践し、教育現場のDXを牽引している。

---

## ワークショップ1（高大連携セッション）

---

2月28日（土）11時00分～12時00分

### <講演タイトル>

『AI時代のデータサイエンス教育

— 統計的リテラシーと「問いを立てる力」をどう育てるか —』

### <講演者>

Exploratory, Inc. CEO 西田 勘一郎 氏

### <講演概要>

近年の生成 AI の急速な進化により、データ分析や意思決定の現場は大きく変わりつつあります。AI は高度な分析や要約を瞬時に行ってくれますが、その一方で、どのような問いを立てるか、そして返ってきた答えをどう評価・解釈するかは、依然として人間に委ねられています。つまり、AI 時代のデータ活用においてこれまで以上に重要になっているのが、統計的リテラシー（データを読み、問い、判断する力）です。これは単なる計算手法の習得ではなく、データから何が言えて、何が言えないのか、AI の出力をどこまで信頼できるのか、誤った解釈や思い込みをどう避けるのか、といった、思考の枠組みそのものを育てる教育が求められているということです。

本セミナーでは、AI 時代におけるデータサイエンス教育の変化を整理しながら、これからの学校教育における統計的リテラシー教育のあり方について考えます。あわせて、プログラミング経験の有無に関わらず、学生が「データに触れ、考え、説明する」ことを可能にするデータサイエンス UI ツール「Exploratory」を、教育現場での活用例を交えながらデモ形式でご紹介します。

これから始まる新しいデータサイエンス教育の方向性を共有し、皆さまと議論する場になれば幸いです。

### <講演者プロフィール>

米オラクル本社で、16年にわたりデータサイエンスの開発チームを率い、機械学習、ビッグ・データ、ビジネス・インテリジェンス、データベースに関する数多くの製品を世に送り出す。その後、一部のテック企業にデータを独占されている状況に危機感をいだき、2016年春、データサイエンスを民主化するためにカリフォルニアのシリコンバレーにて Exploratory, Inc (<https://exploratory.io/>) を創業。現在は、誰もが簡単に UI を通してデータサイエンスの様々な分析手法を使うことができる Exploratory の開発を行う Exploratory, Inc. で CEO を務めるかたわら、データサイエンスの知識とスキルの普及のためのデータ教育にも取り組む。

---

## ワークショップ2（高大連携セッション）

---

2月28日（土）15時40分～17時10分

### <講演タイトル>

『「心」を動かすテクノロジーの授業  
-LOVOTとカードで体験する、新しい「自分探し」のカタチ-』

### <講演者>

NTT株式会社 社会情報研究所 上席特別研究員 渡邊 淳司 氏  
GROOVE X株式会社 LOVOT

### <講演概要>

本ワークショップでは、NTT 社会情報研究所の渡邊淳司氏と、家族型ロボット「LOVOT(らぼっと)」とともに、テクノロジーが私たちの「心」をどう豊かにしてくれるかを探ります。高校の「総合的な探究の時間」や「情報」の授業で、生徒が自分自身の価値観に気づいたり、お互いの個性を認め合ったりするための「授業のヒント」が詰まった体験型プログラムです。

#### 1. 「目に見えない幸せ」を言葉にしてみる

ウェルビーイングカードを使って、自分にとっての「幸せのカタチ」を可視化するワークを体験します。普段は言葉にしにくい「大切にしたい価値観」をカードで選ぶことで、生徒同士が自然と本音で話し合えるような、あたたかい対話のきっかけ作りを体験していただきます。

#### 2. 「役に立つ」から「愛される」テクノロジーへ

ただそこにいるだけで、思わず笑顔がこぼれ、優しい気持ちになれる。そんな「心」に働きかけるテクノロジーの力を体感します。LOVOTを抱き上げ、体温を感じる。その心地よい体験を通して、これからの時代に求められる「人とロボットの新しい関係性」や、心をケアする技術の可能性を肌で感じていただきます。

### <講演者プロフィール>

●NTT株式会社 社会情報研究所 上席特別研究員 渡邊 淳司 氏

専門はウェルビーイングを創成する身体性に基づくコミュニケーション技術・方法論。博士（情報理工学）。ウェルビーイング学会理事。Well-being Technology展 実行委員長。著書に『情報を生み出す触覚の知性』（化学同人、毎日出版文化賞受賞）、『ウェルビーイングの設計論』（監修・共同翻訳、ビー・エヌ・エヌ）、『ウェルビーイングのつくりかた』（共著、ビー・エヌ・エヌ）、『わたしたちのウェルビーイングカード』（監修、NTT出版）など多数。『ウェルビーイング・コンピテンシー—学びの現場にウェルビーイングを取り入れるための考え方と実践方法』（東洋館出版社）の著者の一人。

●LOVOT（らぼっと）

GROOVE X 株式会社は「ロボティクスで、人間のちからを引き出す」をミッションに掲げ、「人間とロボットの信頼関係を築き、生活を潤いと安心で満たす存在をつくる」ことをビジョンとするスタートアップベンチャーです。家族型ロボット『LOVOT[らぼっと]』を開発・製造・販売を行っています。

『LOVOT』は、名前を呼ぶと近づいてきて見つめてくる。好きな人に懐き、抱っこをねだる。抱き上げるとほんのり温かい。ロボットなのにまるで生き物のような生命感があるのが特徴で、ペットのようにだんだん家族になるロボットです。

---

## 一般研究発表 1

---

2月28日(土) 15時40分～17時10分

発表番号の後の \* は大学院生, \*\* は学部生が責任発表者です。

### 一般研究発表 1A 地域・行政 (1)

2月28日(土) 15時40分～17時10分 2階 A23 教室

座長：後藤 晶 (明治大学)

1A-1 都道府県におけるデジタル人材採用の現状

本田 正美 (関東学院大学)

1A-2 欧州議会の議院内閣制議会への接近

武藏 勝宏 (同志社大学)

1A-3 「豊明市スマートフォン等の適正使用の推進に関する条例」の制定をめぐる  
新聞の社説に関する分析

丸山 雅貴 (日本国際学園大学)

1A-4\*\* 移住先地域情報の収集媒体と収集内容に関する分析

荒川 清晟 (放送大学)

一般研究発表 1B 大学教育・教育システム (1)

2月28日(土) 15時40分～17時10分 2階 A21 教室

座長：庄司 一也 (帝京平成大学)

1B-1 専門教育におけるカリキュラムマップ設計に向けた学生による認識度アンケートの分析

橋本 はる美 (摂南大学)・堀井 千夏 (摂南大学)・  
栢木 紀哉 (龍谷大学)

1B-2 商業大学の学生を対象とした生成 AI 利用の意識調査

—「学習目的」と「課題作成目的」—

中谷 陽仁 (大阪商業大学)・宇治 典貞 (大阪商業大学)・  
佐藤 敦子 (大阪商業大学)

1B-3 リフレクションを深める e ワークシート型教材の導入

本田 直也 (大手前大学)

1B-4\*\* 学生の主体的な活動から考察する、大学が提供する学びの価値とその可能性について

奥藤 詩織 (大手前大学)

---

## 一般研究発表2

---

3月1日(日) 9時30分～11時20分

発表番号の後の \* は大学院生, \*\* は学部生が責任発表者です。

### 一般研究発表2A 心理(1)

3月1日(日) 9時30分～11時20分 2階 A23 教室

座長: 寺尾 敦 (青山学院大学)

2A-1 キャラクターの魅力尺度の構築と好みに基づくタイプ分類

竹澤 智美 (大手前大学)

2A-2 ゲームプレイ動画広告視聴による関心度への影響

阿部 慶賀 (和光大学)

2A-3 長時間のゲーム利用が及ぼす心理的影響に関する一考察

中嶋 克成 (周南公立大学)・前田 健汰 (セイワカンパニー)・  
庄司一也 (帝京平成大学)・寺田篤史 (周南公立大学)

2A-4\* バレエ教育における個人特性に適応した配役の在り方

—FFS理論を活用した役割適応の分析に関する試み—

村田 迅 (芦屋大学大学院)・藤本 光司 (芦屋大学大学院)

2A-5 キャリア教育におけるメタ認知の特性分析とシステム開発

—オンラインアセスメントと分析手法について—

藤本 光司 (芦屋大学大学院)・岩城 賢一 (芦屋大学大学院)

一般研究発表 2B 大学教育・教育システム (2)

3月1日(日) 9時30分～11時20分 2階 A21 教室

座長：佐藤 万寿美 (同志社女子大学)

2B-1 できたことノートの継続が自尊感情に及ぼす効果

永谷 研一 (長崎大学 / (株)ネットマン)

2B-2 「情報 I」指導デザインによる ICT スキルと自己効力感の質的差異

—同一教員による校種の異なる 2 校の実践比較—

月岡 忠 (明治大学)・水野 勝之 (明治大学)・

林 真里奈 (明治大学)・鈴木 健也 (明治大学)

2B-3\*\* プログラミング教育におけるレディネス形成の支援を目指したコースウェアの性能評価

石澤 咲人 (公立千歳科学技術大学)・山川 広人 (公立千歳科学技術大学)

2B-4 英文構成能力向上のための学習システムの開発

寺脇 由紀 (大手前大学)・落合 慶広 (情報経営イノベーション専門職大学)・

奥村 耕一 (情報経営イノベーション専門職大学)

2B-5\*\* 学修サポートセンター入退出システムにおける音声案内導入の効果検証

今岡 汰綺 (大手前大学)・藤原 亮二 (大手前大学)・

丸山 琥太郎 (大手前大学)・比嘉 祥大 (大手前大学)・

石原 裕太 (大手前大学)・松尾 友暉 (大手前大学)

一般研究発表 2C 初等中等教育

3月1日(日) 9時30分～11時20分 3階 A38 教室

座長：阿部 慶賀 (和光大学)

2C-1 中学校技術分野「D 情報の技術」における項目(4)の教育目標の明確化

林 泰子 (芦屋大学)・野口 聡 (新見公立大学)・  
安東 茂樹 (芦屋大学)・藤本 光司 (芦屋大学)

2C-2\* 生徒が持つ授業者への信頼と振り返り学習に対する学習意欲の関連性

米澤 顕人 (芦屋大学大学院)・田中 雄也 (寝屋川市立第七中学校)・  
安東 茂樹 (芦屋大学)

2C-3\*\* ICT 活用が小学生の学習意欲に与える影響

門阪 勇樹 (青山学院大学)・南部 和香 (青山学院大学)

2C-4 高大連携による VR・AI 体験型情報教育の実践

—販売実習におけるコンテンツ制作とウェルビーイングの創出—

伊勢 智彦 (大手前大学)・戀木 宏美 (兵庫県立姫路商業高校)・  
宅間 聖一 (兵庫県立姫路商業高校)・藤原 智佳子 (兵庫県立姫路商業高校)・  
畑 耕治郎 (大手前大学)

2C-5 高校「情報 I」のための情報モラルに関するアニメーション教材の制作

野田 佳邦 (大分県立芸術文化短期大学)

---

## 一般研究発表3

---

3月1日(日) 13時00分～14時30分

発表番号の後の \* は大学院生, \*\* は学部生が責任発表者です。

### 一般研究発表3A 健康・医療

3月1日(日) 13時00分～14時30分 2階 A23 教室

座長：南部 和香(青山学院大学)

- 3A-1\* ウェルビーイングを『学ぶ』から『体感する』へ  
多様な IT ツールと可視化を生かしたオンライン対話のデザイン  
出村 沙代(北海道大学大学院)・山中 康裕(北海道大学大学院)
- 3A-2\* 育児中の保護者のウェルビーイング向上に向けた AI コンサルタントの構築  
田 栗華(青山学院大学大学院)・飯島 泰裕(青山学院大学)
- 3A-3 コミュニケーション教育を履修した医療・スポーツ系学生が考える  
「コミュニケーションにおいて重視すべき視点」の記述分析  
庄司 一也(帝京平成大学)
- 3A-4\* AI と協働する時代のグラフィックファシリテーション  
複雑さを複雑なまま扱う可視化の“支援機能”とウェルビーイングの生成  
出村 沙代(北海道大学大学院)・清水 淳子(多摩美術大学)

一般研究発表 3B AI・データサイエンス

3月1日(日) 13時00分～14時30分 2階 A21 教室

座長：小田桐 良一（園田学園大学）

3B-1 高大連携における生成 AI の特性理解を目的とする授業実践

前川 絵吏（大手前大学）・伊勢 智彦（大手前大学）・  
松尾 友暉（大手前大学）・大山 俊也（兵庫県立神戸商業高等学校）

3B-2 独学による数理・データサイエンス・AI 学習の課題に関する検討

吉見 憲二（成蹊大学）・谷本 和也（佛教大学）・  
田中 康裕（社会データ構造化センター）・岩井憲一（滋賀大学）・  
上田 祥二（成蹊大学）・針尾 大嗣（摂南大学）・小館亮之（津田塾大学）

3B-3 大規模言語モデルは被災者をどのように差別するのか？：

経済ゲーム実験を用いた検討

後藤 晶（明治大学）

3B-4 スプレッドシート上の軽量トリプルストアにおける  
S 式推論エンジン SOPHIA の設計と教育支援への適用

岩井 憲一（滋賀大学）

一般研究発表 3C 教員・専門職養成

3月1日(日) 13時00分～14時30分 3階 A38 教室

座長：永谷 研一（長崎大学 / (株)ネットマン）

3C-1 教員の職務継続意識を規定する「やりがい」と「負担感」の縦断的乖離の検討

小崎 誠二（奈良教育大学）・藤川 由佳（奈良県地域創造部）・

高場 慎太郎（川西町教育委員会）・西端 律子（畿央大学）・

堀田 龍也（東京学芸大学）

3C-2 教育実習の事後指導における話し合い活動での ICT 活用

大西 洋（ノートルダム清心女子大学）

3C-3 調理実習の事後学習における AI アシスタント機能を用いた学習支援システムとその有用性に関する評価

金井猛徳（大阪経済大学）・谷岡 由梨（東京農業大学）・

森 恵見（仁愛大学）・中野 長久（大阪公立大学）

3C-4 バーチャル患者を用いたリアルタイム多言語問診シミュレーションシステムの開発

畑 耕治郎（大手前大学）・高谷 知史（大手前大学）・

村上 寛（大手前大学）・笠松 由利（大手前大学）

---

## 一般研究発表 4

---

3月1日（日）14時45分～16時15分

発表番号の後の \* は大学院生, \*\* は学部生が責任発表者です。

一般研究発表 4A 心理 (2)
------------------

3月1日（日）14時45分～16時15分 2階 A23 教室

座長：寺尾 敦（青山学院大学）

4A-1 メタ認知的学習のゲーム理論的アプローチ

上繁 義史（長崎県立大学）

4A-2\*\* 記憶方略における顔の記憶の比較

高橋 利世（和光大学）・阿部 慶賀（和光大学）

4A-3\*\* 「痛バ」に注がれる視線

城戸 麻帆（中央大学）・村田 雅之（中央大学）

4A-4\*\* 学内無線 LAN 設定を支援する動画マニュアルの制作と利用状況分析

小田上 央季（大手前大学）・河野 乙花（大手前大学）・

土佐屋 秋虎（大手前大学）・松田 陽壺（大手前大学）

一般研究発表 4B 広告・消費者

3月1日(日) 14時45分～16時15分 2階 A21 教室

座長：西端 律子（畿央大学）

4B-1 AC ジャパン広告における色彩特徴量を用いた視覚的スタイルの抽出

中田 菜月（学習院女子大学）・清水 将吾（学習院女子大学）

4B-2\* 各国における金融教育開始年齢の国際比較と日本の課題

西川 美樹（芦屋大学大学院）・藤本 光司（芦屋大学大学院）

4B-3\*\* テキストマイニングを用いたファッションの表象分析

井内 俊文（佛教大学）・谷本 和也（佛教大学）

4B-4\* 日中 EV 市場におけるシェア変動メカニズムの比較実証分析

閻 浩（青山学院大学大学院）・南部 和香（青山学院大学）

一般研究発表 4C 地域・行政 (2)

3月1日(日) 14時45分～16時15分 3階 A38 教室

座長：本田 正美 (関東学院大学)

4C-1 大規模言語モデルにおける都道府県によるバイアス：経済ゲーム実験を用いた検討

後藤 晶 (明治大学)

4C-2 「アニメ聖地巡礼」資源を活用した高大連携事業の実践報告

～「北高・オープンハイスクール」の実践から～

谷村 要 (大手前大学)・上内 伸一郎 (兵庫県立西宮苦楽園高校)・

藤原 颯真 (大手前大学)・高井 優輔 (兵庫県立西宮苦楽園高校)・

正井 柚奈 (兵庫県立西宮苦楽園高校)・井上 仁 (兵庫県立西宮苦楽園高校)

4C-3 福知山市 NEXT 産業創造プログラムの成果評価－産業課題に対する KPI 分析－

城 裕昭 (福知山市)・塩見 蓮 (福知山市)・

半澤 麻由 (福知山公立大学)・大月 活人 (福知山公立大学)・

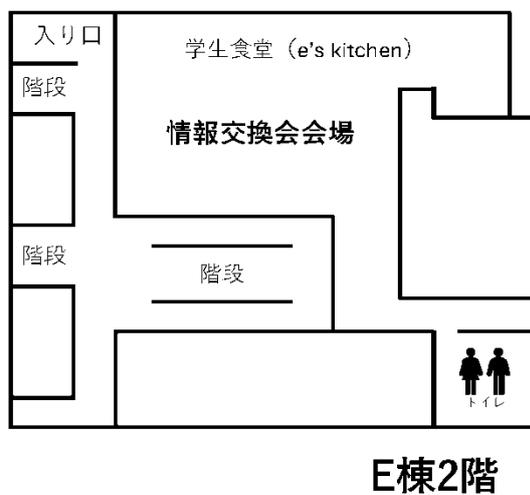
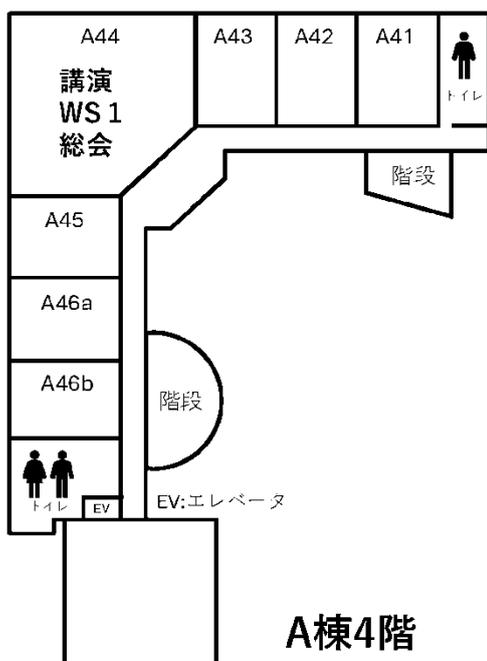
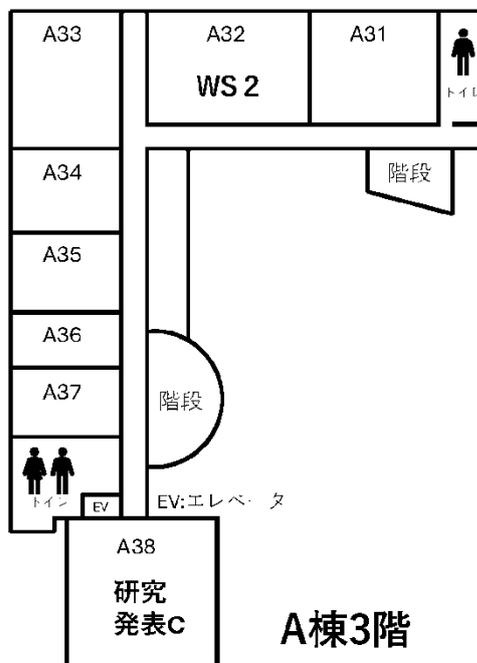
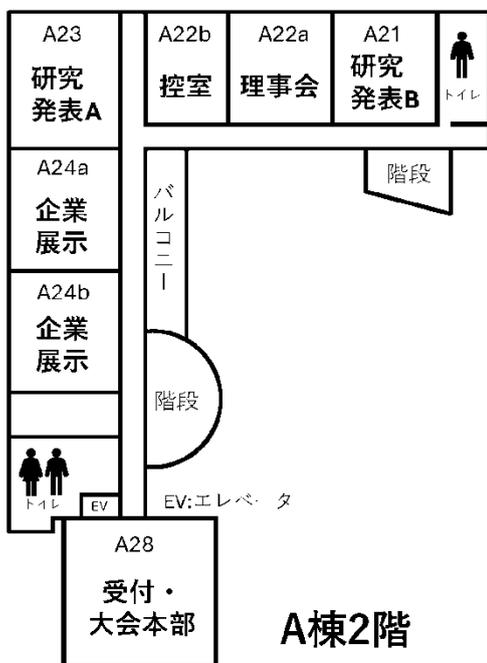
亀井 省吾 (福知山公立大学)

4C-4 入国後講習の成果と課題に関する研究

－技能実習生と監理団体職員及び実習実施者スタッフを対象とした調査と分析－

本田 航平 (株式会社 SocialArk)・藤本 光司 (芦屋大学大学院)

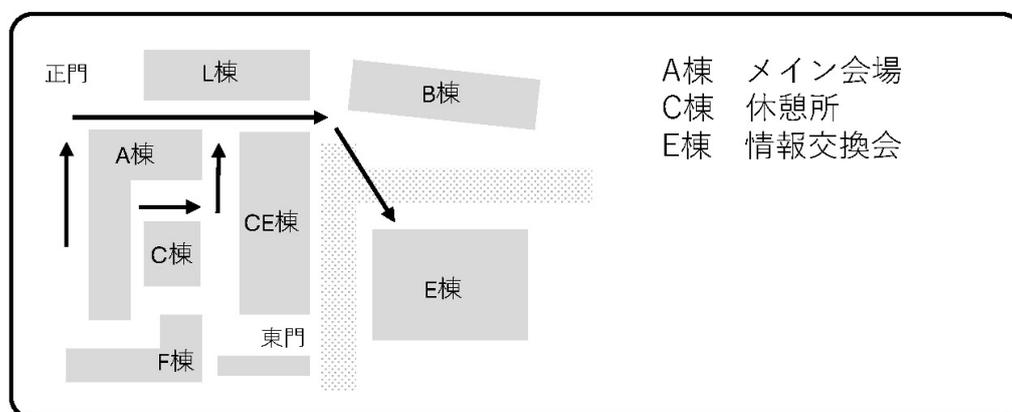
## フロアマップ



## キャンパスマップ



### 🕒 A棟からE棟（情報交換会会場）への経路



※大会期間中、食堂は**休業**です。  
 昼食は**A棟の教室**または**C棟1階**をご利用ください。

※自動販売機は、A棟1階、C棟1階にあります。

※3月1日（日）は学内行事のため、**E棟への入館はできません**。

※キャンパス内は**全域禁煙**です。  
 ご理解とご協力をお願いいたします。

# 学園祭・学会・シンポジウムを 鮮烈な映像でアップグレード LEDビジョンのレンタル&販売のご案内

研究発表のインパクトを最大化する  
高精細な映像ソリューション

[レンタル] 学園祭、学会、短期イベントに

- ・最短1日から対応  
設営・運用・オペレーションまで  
一貫でサポートします

[販売] 講義室、会議室、常設サイネージに

- ・用途・空間に合わせて、  
最適なサイズ設計をご案内します。
- ・導入後も365日の電話サポートで  
安心の運用体制を実現。

なぜLEDビジョンが選ばれるのか？

- ▶ 圧倒的な明るさ  
プロジェクターを超える  
高輝度表示により、照明を落とさず  
鮮明な映像表現が可能。
- ▶ 高い表現力  
静止画だけでなく、動画・  
アニメーション・リアルタイム映像で  
強いインパクトや訴求力を実現。
- ▶ 運用コストとメンテナンス性  
長寿命・省電力で運用コストを削減。  
モジュール交換対応で保守も簡単、  
長期利用に最適なディスプレイです。



ミーティングスペースや会議室に



学園祭のメインステージとして



セミナールームなどの発表の場に

情報コミュニケーションを進化させる、LEDビジョンという選択

DANIELWORKS 合同会社

info@daniel-works.co.jp

TEL : 050-3696-0777

だれもがデータから得た知識をもとに

## よりよい意思決定ができる

プログラミングの壁を越え、UIでデータから真の洞察を引き出す。

研究と教育を加速させる、次世代データサイエンス・プラットフォーム。



### データラングリング



複雑な加工（結合、集計等）をマウス操作で。全工程がステップとして記録され再現性も確保。

### チャート



多彩なチャートを一瞬で作成。データの分布や相関を即座に可視化。

### アナリティクス（統計 / 機械学習 / AI）



仮説検定、回帰分析、機械学習を数クリックで。Rの強力なアルゴリズムを利用可能。

### ノート / ダッシュボード



分析結果をレポートとして瞬時に共有。データと発見を関係者にダイレクトに伝えます。

## 教育・研究現場でのメリット

- ✓ Excelでは困難な大規模データの処理や、高度な解析をノーコードで実現
- ✓ 文系・理系を問わず、MDASH認定校での採用拡大中
- ✓ 授業・ゼミ・研究室での利用は完全無料
- ✓ 日本語環境に完全準拠：文字化けなどは一切なし
- ✓ 分析の再現性を確保：作業工程を自動記録し、共同研究や指導でのプロセス共有を容易に



### Official Book

#### データに触れながら学ぶ統計学

プログラミング不要で統計を学べる教科書も出版しています。仮説検定や多変量分析を直感的に習得いただけます。

Exploratory, Inc. CEO 西田 勘一郎 著 / インプレス刊

詳細・無料ダウンロード

<https://exploratory.io/>

Exploratory, Inc.

導入のご相談・お問い合わせ

[support@exploratory.io](mailto:support@exploratory.io)

# オンライン教育・コミュニケーションソリューションのご案内

大学・高等学校等における授業配信・個別指導・動画共有を支援するソリューション群

## 1. educast -- 参加型双方向ライブ配信システム

株式会社アップが提供するネット授業に特化した双方向ライブ配信システムです。当社(プラットフォーム)が技術・販売面で協力しています。受講者が「反応ボタン」や「テキストチャット」で理解度をリアルタイムに伝達。講師は視聴ユーザアイコンで受講者の状況を一目で把握でき、大人数の授業でもきめ細かい運営が可能です。

- 反応ボタン・チャット・選択肢ボタン・視聴ユーザアイコンによる双方向授業
- 専用アプリ不要 -- Webブラウザのみで配信・受講が可能
- ホワイトボード機能(ペン描画・図形・スライド・画面共有)を搭載
- 詳細な受講管理 -- 視聴ログ・アンケート結果・択一問題の回答内容を確認可能
- ライブ配信後、自動でオンデマンド公開 -- 編集作業不要
- 月額50,000円(税抜)～ / 初期費用50,000円 / ID数・配信回数 無制限

## 2. educast private -- オンラインチューターシステム

当社が開発・提供する遠隔個別指導ツールです。講師1人に対し最大4名の独立したオンライン個別指導を1つの端末で実現。各受講者間のプライバシーを確保しながら、複数受講者の状況を同時に把握可能。ブレイクアウトルーム運用の課題を解決します。

- 各Room独立のチャット・ホワイトボード・挙手ボタンによる呼び出しアラート
- 受講者専用マイページ -- スケジュール自動反映・入室リンク自動生成
- Zoom / Teams / Skype / Meet など既存ツールとの併用にも対応
- 専用アプリ不要 -- PC・タブレット・スマホのブラウザで利用可能

## 3. その他 自社開発ソリューション

### 【ブラウザベース Video Chat】

セットアップ不要の使い捨て感覚ビデオチャット。友だち登録・ID交換不要で安心。招待QRコード・招待URLによるメンバー招集。録画オプション対応。

### 【プライベート／グループチャット(unID)】

個人情報を残さないプライバシー配慮型メッセージサービス。不要になった「つながり」は連絡先・履歴ごと消去可能。API形式での組み込みにも対応。

### 【クローズド動画共有プラットフォーム】

利用者を柔軟に管理できるYouTubeのような仕組みを限定公開で実現。マルチビットレート・CDN配信・可変速再生対応。ANA様ほか導入実績あり。

2・3 のソリューションはカスタマイズや貴学の既存サービスへの組み込みにも対応可能です

オンライン授業・遠隔指導支援システムに関するご相談はお気軽にお問い合わせください

株式会社プラットフォーム

PLATFIELD INC.

設立:2013年3月 | 本社:兵庫県宝塚市安倉北2-18-27 | 資本金:2,000万円  
事業内容:ウェブサービス企画/開発/提供、スマートデバイス用アプリ企画/開発

### 【お問い合わせ】

HP:<https://platfield.co.jp/contact/>

メール:[info@platfield.com](mailto:info@platfield.com)



お問い合わせページ

# XR技術を用いた デジタルツイン マルチプラットフォーム



位置情報から現実と未来をつなぐ時空間GISを実現



torinome Base

torinome AR



torinome VR

torinome Planner

torinome WebAR

いつでもどこでも、  
Webで簡単に  
リアルタイム共同編集

多様なデータを  
位置情報でつなぎ、  
すべての  
XRアプリが連携

バーチャルでも現地  
でも、空間を自由な  
スケールでXRで体感

空間に重ねて  
「見せて伝える」、  
合意形成を支える  
デジタルツイン

お問い合わせ



株式会社ホロラボ



info@hololab.co.jp

torinome Webはこちら ▶  
<https://hololab.co.jp/torinome/>



「情報Ⅰ」入試対策は  
実教出版におまかせ！



# 大学入試対策教材

中学の復習から共通テストレベルまで段階的に伸ばすスモールステップ学習



## ベストフィット情報Ⅰ New Edition

B5判176ページ（別冊解答184ページ）  
定価 890円（税込）

共通テスト用プログラム表記対応の書き込み式ドリル教材



## 共通テスト プログラミングのエッセンス

B5判32ページ（別冊解答16ページ）  
定価330円（税込）

共通テスト対策～探究的な学びにつながるコンパクト型教材



## データの活用の エッセンス

B5判32ページ（別冊解答32ページ予定）  
定価330円（税込）

2026年  
5月  
発行予定

短期完結型の共通テスト対策教材  
長期休暇の課題や本番直前の総仕上げに最適！

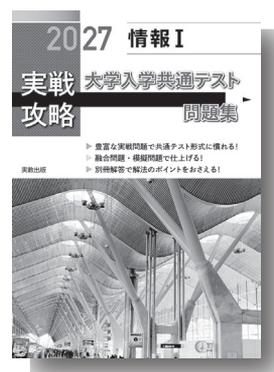


2026年  
4月  
発行予定  
2026年版は  
好評発売中！

## 2027 大学入試 短期集中ゼミ 大学入学共通テスト 情報Ⅰ

B5変型判96ページ（別冊解答48ページ）  
定価 650円（税込）

共通テスト形式の問題に徹底的に慣れる  
大学入学共通テスト「情報Ⅰ」対策問題集



2026年  
3月  
発行予定  
2026年版は  
好評発売中！

## 2027実戦攻略「情報Ⅰ」 大学入学共通テスト問題集

B5判192ページ（別冊解答176ページ）  
定価910円（税込）

# まなび、ときめき、東京書籍

「学びたい。知りたい。」という気持ちや「わかった! できた!」という喜び。

そのような「まなび」の中に「ときめき」は隠れています。

どんな時代でも、学びの力は前を向く原動力となり、世界を変えていきます。

持続可能な社会のために、人の学びは不可欠です。

人々の健やかな学びに貢献したい。

社員一人一人がときめきを忘れずに挑戦したい。

東京書籍はこれからも、

みなさまの豊かな「まなび」を支え続けます。



関西圏高校支社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-4-10  
Tel:06-4967-1356

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp>

教育情報サイト  東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

# 祝 情報コミュニケーション学会第23回全国大会



## しっかり基本から——。共通テスト・大学入試レベル対応 情報 I 大学入試 対策問題集

2026年3月  
発行予定

判型: B5判  
頁数: 全152頁 (別冊「解答・解説」112頁つき)  
価格: 990円 (本体価格900円+税10%)  
ISBN: 978-4-536-25518-9



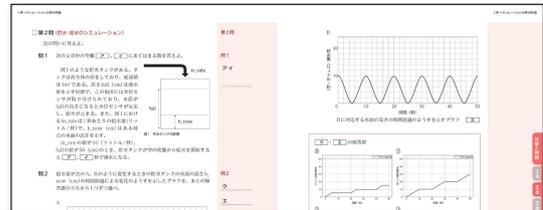
- 教科書レベルの内容を確認する「基本問題」と、実際の入試問題も扱う「実践問題」で構成。
- 問題ごとに難易度を表示し、学習段階に応じた取り組みが可能。
- ボリュームのある「解答・解説」で自学自習にも最適。



## 大学入学共通テスト対策&問題集 2027 速習 ポイント攻略 情報 I

2026年6月  
発行予定

判型: B5判  
頁数: 全256頁 (別冊「解答・解説」88頁つき)  
価格: 990円 (本体価格900円+税10%)  
ISBN: 978-4-536-25519-6



- 最新の過去問を用いて大学入学共通テストの傾向を分析し、問題を解くためのポイントや解法をわかりやすく解説。
- 速習可能な問題量で夏期講習・直前対策にも最適。
- 解答用紙つきの追試・オリジナル模擬試験問題も収録。



お問い合わせは、小社ホームページ「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。

心が動く、その先へ。  
**日本文教出版**

日本文教出版株式会社 <https://www.nichibun-g.co.jp/>  
 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5 TEL: 06-6692-1261  
 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16 TEL: 03-3389-4611  
 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院 3-11-14 TEL: 092-531-7696  
 東海支社 〒461-0004 名古屋市中区葵 1-13-18-7F-B TEL: 052-979-7260  
 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似 9-12-1-1 TEL: 011-764-1201

## 情報コミュニケーション学会 会員募集のお知らせ

2026 年度新入会キャンペーンを実施中！ 入会金・2026 年度会費無料！

情報コミュニケーション学会（Japan Association for Communication Information and Society）は情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて学際的に研究することを目的とし平成 16 年 2 月 28 日に設立されました。本学会は日本学術会議協力学術研究団体に指定されています。

### 情報コミュニケーション学会 設立趣意書

近年、世界的な規模でのグローバル化・情報化は、私たちの社会生活やライフスタイルに大きな変化を与えています。高度に発達した情報環境の中で、時間や距離を超え、さまざまな人種、文化、宗教、価値観などをもった人々が共存する豊かな共生社会の創造が望まれます。このような中、「情報コミュニケーション学会」は、情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて、学際的に研究することを目的としております。コミュニケーションは、人と人、人と集団、集団と集団の間で生まれます。そこでの情報機器を介したコミュニケーションの働きや社会的役割、問題点などを解きほぐし、情報の収集・処理・発信・伝達など目的を持った主体的なコミュニケーションについても、研究していきたいと考えています。これらの取り組みにより、情報コミュニケーションという概念が、ひとつの新しい分野として確立できることを願っています。また、教育の現場においては、小学校からさまざまな場面でコンピュータが活用され、高等学校では情報を体系的に学ぶために教科情報が設置・実施されるようになりました。学校では先生方の熱心な取り組みにより、試行錯誤を繰り返し、悩みながら、問題を一つひとつ解決しているのが実情です。そこで、本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよい教育をおこなうための原動力になることも願っています。情報コミュニケーション学会については、平成 15 年 2 月 8 日、80 名の賛同者を得て設立準備会を実施し、平成 16 年 2 月 28 日の設立総会で正式に発足の運びとなりました。情報コミュニケーション学会設立の趣旨に賛同いただき、多くの皆様にご入会いただきますようお願い申し上げます。

2026 年度新入会キャンペーンを実施中！

<https://cis.gr.jp/join/2026-join>

参考:2026 年 2 月 28 日現在の会費等

- ・ 入会金 1,000 円
- ・ 年会費（正会員） 7,000 円  
（但し、幼・小・中・高校教員、教育委員会 などの関係者は特別割引制度適応で 3,000 円）
- ・ 年会費（学生会員：学部学生） 1,000 円



## 情報コミュニケーション学会第23回全国大会実行委員会

(敬称略 五十音順)

### 実行委員長

畑 耕治郎 (大手前大学)

### 実行委員

谷村 要 (大手前大学)

谷本 和也 (佛教大学)

寺尾 敦 (青山学院大学)

丹羽 量久 (長崎大学)

## 情報コミュニケーション学会第23回全国大会プログラム委員会

(敬称略 五十音順)

### プログラム委員長

寺尾 敦 (青山学院大学)

### プログラム委員

後藤 晶 (明治大学)

庄司 一也 (帝京平成大学)

高見澤 秀幸 (秀明大学)

西端 律子 (畿央大学)

吉田 葵 (青山学院大学)

## 発表賞審査協力者

(敬称略 五十音順)

阿部 慶賀

大岩 幸太郎

小田桐 良一

後藤 晶

佐藤 万寿美

庄司 一也

寺尾 敦

永谷 研一

南部 和香

西端 律子

本田 正美

— 主催 —

情報コミュニケーション学会

— 共催 —

大手前大学

— 後援 —

兵庫県教育委員会  
西宮市教育委員会

— 協賛・出展 —

(順不同)

DANIELWORKS 合同会社  
Exploratory, Inc.  
株式会社プラットフォーム  
株式会社ホロラボ  
株式会社レスター  
実教出版株式会社

東京書籍株式会社  
日本文教出版株式会社  
GROOVE X 株式会社  
株式会社 Agoop  
株式会社島津製作所  
コニカミノルタ株式会社

情報コミュニケーション学会第23回全国大会プログラム

発行日：2026年2月28日

発行者：情報コミュニケーション学会

事務局：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

園田学園大学 情報教育センター

E-mail：cis@sonoda-u.ac.jp

URL：https://cis.gr.jp/